

岐阜薬科大学との共同研究成果に関する第43回日本眼薬理学会発表のお知らせ - ヒト乳歯歯髄幹細胞の視神経保護作用 -

当社は、再生医療における細胞治療分野をターゲットとした再生医療等製品の創出を目的に、神経提由来の細胞である乳歯歯髄幹細胞（SHED: Stem cells from Human Exfoliated Deciduous teeth）を基盤とした細胞治療薬の研究開発を推進しております。

このたび、岐阜薬科大学 薬効解析学研究室との協働で進めておりました眼関連疾患の治療法創出に向けた基礎研究において、以下のような研究成果が得られたことを受け、2023年11月11日~12日に開催された第43回日本眼薬理学会において、その共同研究成果を岐阜薬科大学と共同で発表いたしましたので、お知らせいたします。

本研究成果は、当社が目指す世界初の SHED を用いた細胞治療薬の創出プロジェクトにおける重要なステップであり、これを機に今後、眼疾患に対する研究開発活動を加速させてまいります。

研究成果のポイント

- マウス視神経損傷モデルに SHED を眼内投与することで、神経損傷に伴う網膜神経節細胞数および視神経軸索数の減少が有意に抑制された。
- さらに、SHED の眼内投与は視神経軸索の再生マーカーの発現を亢進させた。
- 以上のことから、SHED は視神経の再生を亢進させることによって、視神経障害に対して神経保護効果を発揮する可能性が示された。

※ご参考

- ・第43回日本眼薬理学会
<https://convention.jtbcom.co.jp/jsop43/index.html>

以上